

古文書修復実習

日時 2021年3月8日(月) 9:00~16:00

会場 Zoom ミーティング

講師 関口博巨(日本常民文化研究所所員)

白水 智(日本常民文化研究所客員研究員・中央学院大学教授)

山口悟史(日本常民文化研究所客員研究員・東京大学史料編纂所技術職員)

中村 慧(杉並区教育委員会文化財係学芸員)

平田茉莉子(修復専門員)

内容 基本的な古文書修復技術の説明及び実習 記録、修理、復元、剝離、整理 座談会

初の「オンライン実習」を開催

関口 博巨

1997年にスタートした古文書修復実習は、毎年、常民文化研究講座の一環として開催してきた。ところが、2020年3月に開催を予定していた古文書修復実習(2019年度事業)は、新型コロナウイルス感染症の流行による大学の入構禁止措置を受けて、開始以来はじめて、中止を余儀なくされた。

コロナ禍はその後にも収束の兆しをみせず、2021年3月の古文書修復実習(2020年度事業)は、抽選で選ばれた前年度の参加予定者を対象に、講師が映像などを用いて修復の技法を解説する「オンライン実習」を試みることにした。当日のスケジュールは以下のとおりである(参加者15名)。

[日時] 2021年3月8日(月) 9:00~16:00 (Zoom ミーティング)

9:00- 9:45 主旨説明/講師・参加者自己紹介

9:50-10:35 記録・解体(白水智)



写真1 修理/裏打ち。和紙を裏から張る補強



写真2 復元／裏打ちした本紙を仮張りに張り、乾燥したら竹べらで剥がす

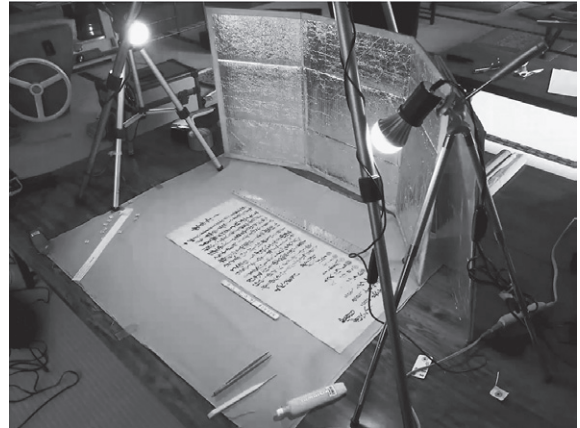


写真3 記録・解体／写真での記録



写真4 修理／繕い。欠損部分を補修紙で裏から埋める



写真5 剥離／剥離した本紙を毛氈上で乾燥

- 10:45-11:25 修理 (山口智史)
 11:30-12:15 復元 (関口博巨)
 (45分間昼休み)
 13:00-13:45 剥離 (中村慧・平田茉莉子)
 13:50-14:35 整理 (白水智)
 14:45-16:00 座談会

例年通りの古文書修復実習であれば、受講者は常民研の修復室で、2日間にわたって、いくつかの作業を実際に体験することができた(擬似古文書を使用)。1日の「オンライン実習」では、文字通りの実習にはなり得ないが、受講者の皆さんが、日本常民文化研究所の活動と古文書修復の一端に触れていただく機会にできたのではないかと思う。

また、対面での古文書修復実習と同様に、今回の受講者も、博物館や図書館などにお勤めで、日常的に古文書などの紙資料を扱っておられる方が多かった。オンライン実習の最後の座談会は、実習内容にかんする質疑はもとより、資料保存活動を進める上での課題や悩みを語り合う場にもなった。今回はオンライン開催になったとはいえ、その点で、20数年間続いている古文書修復実習の特長は引き継ぐことができたといえよう。